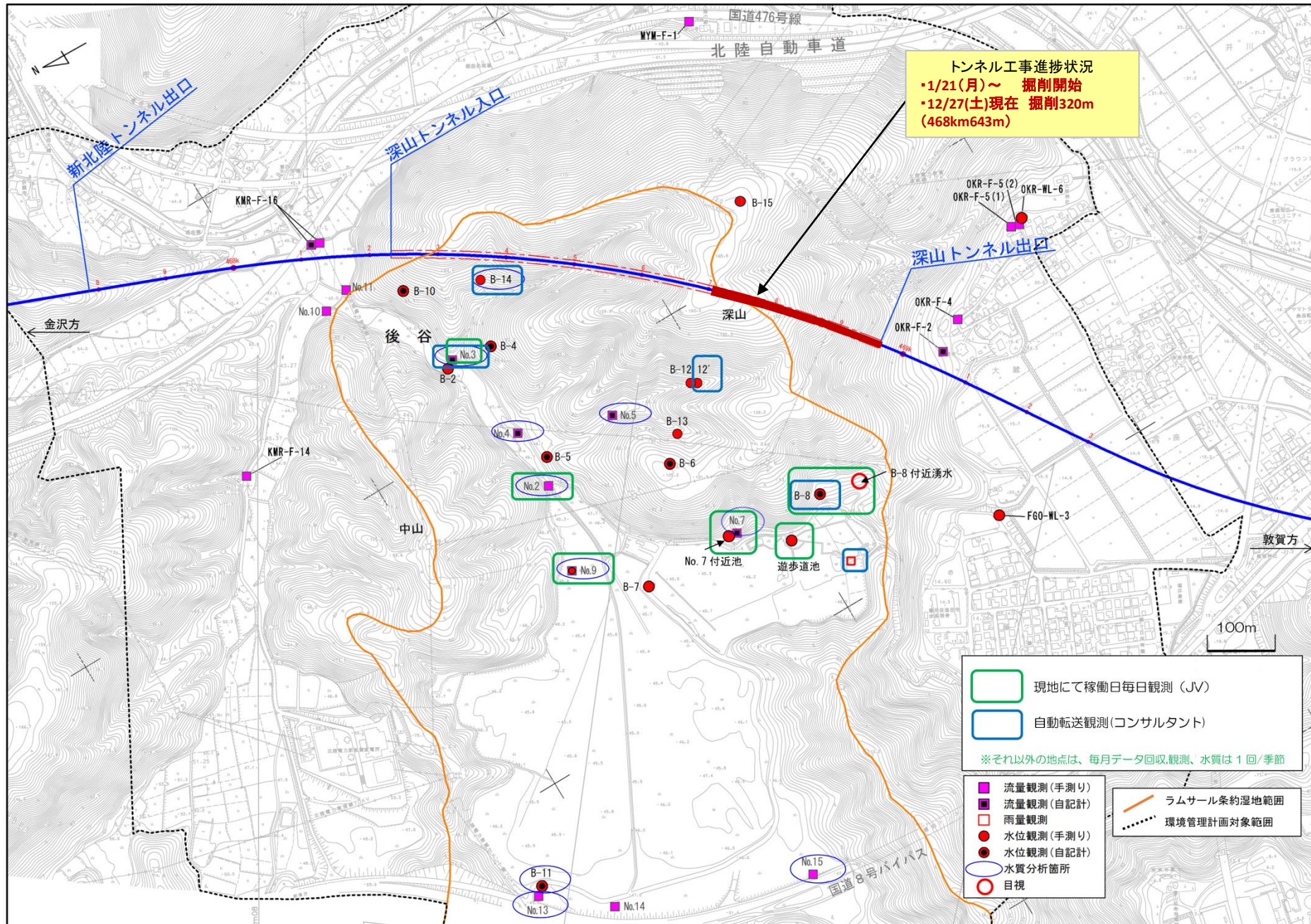
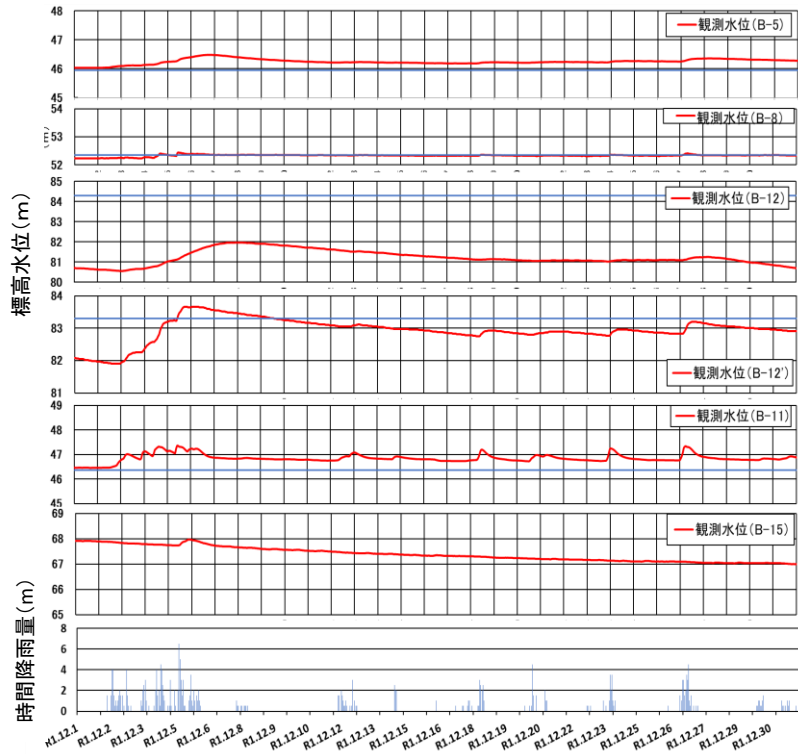




水文環境モニタリング観測地点図

「北陸新幹線、中池見湿地付近深山トンネル等工事に係る環境管理計画」に基づき実施している水文環境モニタリング結果について報告する。
※主要箇所のみ抜粋

地下水位観測結果図(自記記録)



B-5 地下水位
過年度最低水位
46.0m

B-8 地下水位
過年度最低水位
52.35m

B-12 地下水位
過年度最低水位
84.3m

B-12' 地下水位
過年度最低水位
83.3m

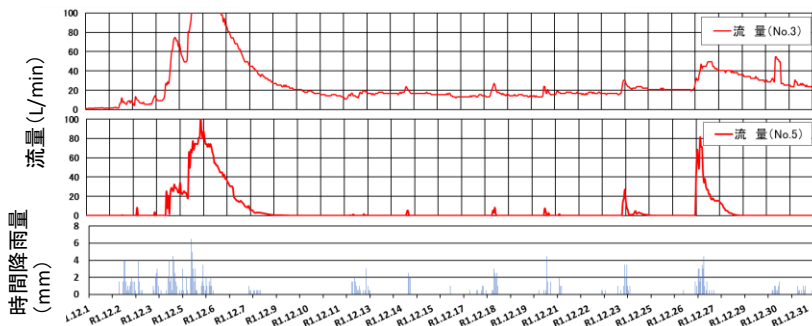
B-12'' 地下水位
過年度最低水位
65.8m

B-14 地下水位
過年度最低水位
46.36m

B-15 地下水位

雨量

流量観測結果図(自記記録)



No. 3 流量

No. 5 流量

雨量

全体総括

□目立った変動なし ■やや変動あり

□変動あり(注意体制への移行を検討)

期間中の地下水位低下量

■1m未満ないし増加:全地点

□2m未満 □5m未満 □5m以上

期間中の流量低下量

■50ℓ/分未満ないし増加:No.3, No.4, No.5, No.7 □50ℓ/分以上

期間中のpH変動量

■0.5未満:B-8, B-12 □0.5以上 □1以上

日降水量

□15mm未満 ■15mm以上:6日 □50mm以上

月降水量

□80mm未満 □80mm以上 □130mm以上 ■200mm以上

概 要

■水位変動について

①やや変動あり。

②B-8(自動転送):大きな水位低下はみられないが、過年度最低水位とほぼ同じ水位。
③B-12(自記水位計):12/2～12/5の降雨により水位上昇がみられるも過年度最低値を上回らず、降雨後水位低下となり先月に引き続き過年度最低値を下回った(先月△3.6m⇒今回△3.6m)。

⇒今後も注視していく。なお、pHの値の変化はみられない。

④B-12'(自動転送):12/2～12/5の降雨により水位が上昇し一時的に過年度最低水位を上回るも、降雨後水位低下し、過年度最低水位を下回った(△0.4m) B-12に近接しているため同様な状況が推測される。今後も注視していく。

⑤B-15(自記水位計):本線を挟んで反対側に位置するB-12に比べ降雨の反応は少なく、12/2～12/5の降雨でわずかに水位上昇がみられるがそれ以降は一律に低下するも収束傾向である。先月に比べ急激なトンネル湧水の増減がないため、連動性は不明確であるので今後も注視していく。

⑥No.5(自記):11月下旬以降、無降雨日が続くと流量が0となる。

■降水量について

・12月で日降水量の最大を記録した日は、12/5の34.5mmであった。

⇒11月の日最大降水量は23mmであり今月は約1.5倍の降水量であった。

・月降水量は、222.5mmであった。

⇒なお、11月の月降水量は63.5mmであり、約3.5倍の降水量であった。